



道総研

地域に応じたゼロカーボン技術を 北海道のすみずみに



令和6年

3月1日(金)

14:00~17:00

≡ 第7回 ≡

道総研オープンフォーラム

会場

かでの2・7 かでのアスピックホール
札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

参加費

無料

定員

対面 500名、リモート 500名



エネルギー
Energy Management

■主催:地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(道総研) ■後援:北海道、当別町、津別町、足寄町

地域に応じたゼロカーボン技術を 北海道のすみずみに

日時：令和6年3月1日(金) 14時00分～17時00分(受付開始 13時00分)

場所：かでの2・7 かでのアスピックホール(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

開催方法：対面、リモート併用(参加費：無料)

定員：対面500名、リモート500名(申込締切：令和6年2月26日(月) ※定員に満たない場合、対面のみ当日参加可能)

主催：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(道総研)

後援：北海道、当別町、津別町、足寄町

フォーラム	(対面、リモート併用)	かでのアスピックホール	14:00～17:00
開会挨拶		道総研 理事長 小高 咲	(5分)
		「ゼロカーボン北海道に貢献できる再エネ等の地域資源の活用」	
基調講演		北海道大学大学院工学研究院 教授 石井 一英 氏	(40分)
成果発表			
● 戦略研究の成果の概要	プロジェクトリーダー	北口 敏弘 (エネルギー・環境・地質研究所)	(10分)
● 脱炭素のまちづくり～公共施設の省エネとエネルギー融通の効果～	サブリーダー	堤 拓哉 (建築研究本部)	(20分)
	休憩		(10分)
● 地域特性に応じたエネルギー地産地消モデル構築～当別町における木質バイオマス・地下水熱利用の取り組み～	サブリーダー	白土 博康 (エネルギー・環境・地質研究所)	(20分)
● 温泉熱と温泉付随ガスのハイブリッド利用モデルの提案～足寄町イチゴ栽培ハウスでの事例～	サブリーダー	鈴木 隆広 (エネルギー・環境・地質研究所)	(20分)
		ポスターセッションコアタイム (20分)	
	進行	北口 敏弘 (エネルギー・環境・地質研究所)	
総合討論	パネリスト(予定)	津別町：兼平 昌明氏、当別町：吉野 裕宜氏、足寄町：井上 嘉明氏	(30分)
閉会			(5分)

※講演タイトルは変更の可能性があります。

ポスターセッション	(対面のみ)	展示ホール	14:00～17:00
● 道総研戦略研究「地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装」の成果を紹介	説明コアタイム	16:05～16:25	
展示	(対面のみ)	展示ホール	14:00～17:00
● 道総研の研究成果・活動を紹介			

【参加お申し込み】

■ 事前申込制です。参加をご希望の方は下記 web サイトのフォームより、対面・リモートのどちらで参加かお選びいただいた上でお申し込み下さい。複数名での参加希望の場合、代表者による申し込みによる旨記載ください。

■ 申込締切：令和6年2月26日(月)

ただし、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。お電話による申し込みも可能です。

■ 対面での参加を申し込まれた方は、直接会場へお越し下さい。

■ リモートでの参加を申し込まれた方には、2月28日(水)までに視聴用 URL をお送りします。配信は Zoom ウェビナーを用いますので、各自で接続環境をご用意ください。なお、ポスター・展示については配信できかねますことをご了承ください。

フォーム：<https://www.hro.or.jp/hro/research/en.html>

※お預かりした個人情報は、本フォーラム以外の目的には使用しません。



〈フォーム〉

【お問い合わせ先】

(地独)北海道立総合研究機構 法人本部(担当) TEL：011-747-2809

フォーラムの情報等はホームページ上でもお知らせします

道総研

